



校長だより

# 日中丸



第9号  
H30. 6. 26

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## 浜清掃 6.22(金)

小学校と合同で、西浜と東浜の清掃活動を行いました。昨年度同様、観光協会など大人の方にも参加していただきました。7月には、海開きが行われるそうです。その前に少しでも海水浴場がきれいになればと思って、真剣に取り組みました。島のために働く姿はすてきですね。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



## 朝会より 6.18(月)

### 生徒発表 (6月のテーマ: 島の将来について)

鈴木翼さん (1年)

僕は、この島が大好きです。だから、将来、この島で暮らそうと思っています。

僕が大人になって島で暮らしているときは、今よりお客さんがたくさんいて、島が盛り上がっていてほしいです。だから、将来の島のことを思って、伝統や行事が将来も残っているように大事にしていきたいです。そのために、伝統や行事を島の人や子どもたちと一緒に参加して、島を盛り上げていきたいです。

もっと島を盛り上げていって10年後、20年後には、お客さんいっぱい島になってほしいです。

田中翔也さん (3年)

僕たちは、修学旅行で日間賀島のPRをすることになりました。そこで、5月30日(水)に広告会社の大場さんという方から、日間賀島の現状についていろいろとお話をしてもらいました。その話を聞いて、しっかり日間賀島をPRしようと思いました。なぜなら、今の日間賀島は以前に比べてたくさんのお客さんが来ていますが、日帰りのお客さんが多いからです。日帰りのお客さんが多いということは、ホテルや民宿で泊まっていく人が少なくなっているということです。そのため、ホテルや民宿の数が年々減ってきています。それを改善するためにも、多くの人に日間賀島の魅力を伝えるのがとても大切だと思います。将来的には多くの観光客がたくさん来てくれる日間賀島になってほしいです。

## 校長の話

こんな話をしました。

### ① 校歌について

先日、この日間賀中学校に勤めていた先生方とお会いすることがありました。その時に校歌を歌う機会がありました。何年も前に勤めていた先生方でしたが、しっかりと校歌を歌われました。また、入学式や卒業式では、来賓や保護者の方にも校歌を歌っていただいています。校歌というのは、この日間賀中学校で学んだり勤めたりしたことのある人にとって大切な歌です。今、ここにいるみなさんも、校歌を大切に、何年後かに大きな声で歌っていられるといいなと思います。

### ② 林間学校について

6月10日から12日までの3日間、2年生と一緒に林間学校へ行ってきました。雨が心配されましたが、キャンプファイヤーや肝試しなど予定していた活動をすべて行うことができました。たいへん楽しい3日間でした。2年生一人一人が、スローガン「13人の虹色パレット ～13人による 13人のための 林間(リンカーン)学校」を意識し、それぞれの目標を達成しようとしたからだと思います。何よりも、仲間を思いやり、気遣いながら生活していた姿が印象的でした。「親しき中にも礼儀あり」という言葉もあります。親しい中でも、礼儀を重んじることは大切です。よい学級や学校をつくるためにも大切なことですね。

## 朝会より 6.25(月)

### 生徒発表（6月のテーマ：島の将来について）

#### 鈴木好生さん（2年）

僕には、この島の将来について考えることが2つあります。

1つ目は、日間賀島がきれいかどうかということです。正直言って、あまりきれいではないと思います。だから、将来は、もっときれいになるといいと思います。

2つ目は、観光客についてです。今もたくさんの方が来て盛り上がっていますが、もっとたくさんの方が来て、よい島だと知ってほしいです。

この2つのために、みんなでゴミを拾うキャンペーンをつくってほしいと思います。

## 福島丈先生の話

こんな話をしてくれました。

今月は「島の将来について」ということです。先生は昨年、日間賀サミットの担当になって、いろいろな方の話を聞く機会がありました。みなさんが島をよくしたいと考えていて、生徒のみんなには島を好きになってもらいたいと思っています。そのような思いを受け、先生もいろいろ調べている時に、「誰もが住みたい街に共通する絶対的条件」という記事を読みました。そこには、「たくさんの情報をもってること」が条件の1つとしてあげられていました。たくさんの情報を発信することで、多くの人に知ってもらい、「行きたいな」「住みたいな」につながるということでした。日間賀島もたこやぶぐ、イルカなどの情報をたくさん発信しようと努力しています。しかし、これだけでは限界があると観光協会の方から聞きました。さらに多くの情報を発信していけるようにしていく必要があるようです。水曜日から3年生が行く修学旅行でも、その情報発信のお手伝いをしてきます。

また、もう1つの条件に街（島）の人が自発的に動き、自分たちの街（島）にどれだけ関わろうとしている人がいるかが大切だとも書いてありました。そう考えると、日間賀サミットは島をよりよくしようという思いで小学生から大人までが島に関わっているものなので、条件にぴったりだと思います。このことを踏まえて、先生の日間賀島の将来に対する夢は、「ここにいるみなさんが、大人の立場として日間賀サミットに参加していること」です。

ぜひ、みんなでよりよい島をつくっていきましょう。

